

平成25年度

埋蔵文化財調査士補

資格試験 筆記問題答案用紙 (I 択一式)

受験番号	氏名	I	II	III
B-				

試験日：平成25年8月24日(土)

東京会場：東京御茶ノ水「連合会館」

大阪会場：大阪「大阪ガーデンパレス」

公益社団法人
 日本文化財保護協会

【 I 】 次の設問に対し、A～Dのうち一つだけ記号を選択して解答欄に記入しなさい。

問 1 発掘調査の持つ意義について最も妥当なのは次のうちどれか。

- A. 発掘調査は埋蔵文化財保護という現代性の高い行政措置である。
- B. 発掘調査は埋蔵文化財保護という専門性の高い行政措置である。
- C. 発掘調査は埋蔵文化財保護という安全性の高い行政措置である。
- D. 発掘調査は埋蔵文化財保護という公益性の高い行政措置である。

問 1	D
-----	---

問 2 発掘調査届などは都道府県教育委員会に提出することになっているが、埋蔵物発見届の提出先はどこか。

- A. 文化庁
- B. 都道府県教育委員会
- C. 当該市町村
- D. 当該警察署

問 2	D
-----	---

問 3 文化財保護法第 93 条第 1 項(民間・私人による土木工事等による発掘)では、発掘に着手しようとする日の何日前までに届出るよう規定しているか。

- A. 20 日前
- B. 30 日前
- C. 40 日前
- D. 60 日前

問 3	D
-----	---

問 4 労働安全衛生法に関する記述のうち誤りはどれか。

- A. 労働安全衛生法は、職場における労働者の安全と健康を確保することを目的に掲げている。
- B. 労働安全衛生法は、事業者の自主的な取組みを促進する法律であるので、罰則規定は設けられていない。
- C. 労働安全衛生法は、労働者の遵守事項に関する規定も定めている。
- D. 労働者の労働時間は労働者の安全の確保と密接な関係があるが、法定労働時間等の労働時間に関することは労働安全衛生法には規定されていない。

問 4	B
-----	---

問 5 安全管理者及び衛生管理者に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 常時 30 人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全管理者を選任しなければならない。
- B. 常時 60 人以上の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、衛生管理者を選任しなければならない。
- C. 常時 40 人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、産業医を選任しなければならない。
- D. 常時 5 人の労働者を使用して発掘の業務を行う事業場は、安全衛生推進者を選任しなければならない。

問 5	B
-----	---

問 6 安全衛生教育に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 雇入れ時の安全衛生教育は、臨時に 3 カ月間使用する労働者に対しては行わなくてもよい。
- B. 雇入れ時の安全衛生教育は、実施する項目が定められている。
- C. 派遣労働者に対する雇入れ時の安全衛生教育は、派遣先が実施しなければならない。
- D. 請負事業者の労働者に対する雇入れ時の安全衛生教育は、その労働者が親企業(元方事業者)の構内で労働する場合は親企業の責任で実施しなければならない。

問 6	B
-----	---

問 7 昇降設備の設置義務に関し労働安全衛生法令上正しいのはどれか。

- A. 高さが 75 cm を超える箇所で作業を行うとき。
- B. 深さが 1m を超える箇所で作業を行うとき。
- C. 高さが 1m を超える箇所で作業を行うとき。
- D. 深さが 1.5m を超える箇所で作業を行うとき。

問 7	D
-----	---

問 8 掘削に関し労働安全衛生法令上誤りはどれか。

- A. 地山の掘削の作業を行う場合は、地質、地層の調査が義務付けられている。
- B. 掘削面の勾配について、岩盤又はかたい粘土の地山の手掘り作業では、掘削面の高さ 5m 以上では 75 度以下としなければならない。
- C. 砂からなる地山の手掘り作業では、掘削面の勾配は 35 度以下又は掘削面の高さを 5m 未満としなければならない。
- D. 掘削面の高さが 1.5m 以上となる地山の掘削の作業では作業主任者の選任が必要である。

問 8	D
-----	---

問 9 費用負担で行政が年度ごとに文化庁補助金を使いながら行っているものを次の中から一つ選べ。

- A. 本発掘調査
- B. 出土品整理・報告書作成
- C. 発掘調査研究発表会の開催
- D. 確認調査

問 9	D
-----	---

問 10 調査を適切に実施するために指導を仰ぐものは誰か、正しいものを次の中から一つ選べ。

- A. 開発事業者
- B. 行政文化財担当者
- C. 作業員世話役
- D. 近隣住民

問 10	B
------	---

問 11 調査開始前にまず必要とされる事項はどれか。

- A. セクションベルトの設置
- B. 遺跡立地の確認
- C. 見学会の準備
- D. 火山灰層の確認

問 11	B
------	---

問 12 適切な調査を実施する上で、最も参考とすべき調査マニュアルは次のうちどれか。

- A. 当該行政で作成した調査マニュアル
- B. 自分自身で考えた調査マニュアル
- C. 自社で作成した調査マニュアル
- D. 母校の講義で習った調査マニュアル

問 12	A
------	---

問 13 遺構の調査にあたってまず必要とされる事項はどれか。

- A. 出土遺物の洗浄
- B. 航空写真撮影
- C. 基本層序の掌握
- D. 出土遺物の全点ドットの導入

問 13	C
------	---

問 14 調査を実施していく中で、工程上遅れが生じた場合、調査担当者の取るべき道は次のうちどれか、正しいものを一つ選べ。

- A. 原因を冷静に分析し、調査会議で協議する。
- B. 現場の流れに任せて調査を行っていく。
- C. 自己判断で重機、作業員を増員する。
- D. 調査マニュアルを変更してスピード化を図る。

問 14	A
------	---

問 15 明治 10 年に来日したモースに関し、正しいものは次のうちどれか。

- A. 動物学者だったので、考古遺物は坪井正五郎の鑑定を仰いでいた。
- B. 大森貝塚の発掘は、初めて体験する貝塚の発掘であった。
- C. 東京大学教授の職を得ての来日であった。
- D. 製図の心得を活かし、土器の実測を指導した。

問 15	D
------	---

問 16 弥生時代の学史として正しくないのは、次のうちどれか。

- A. 蒔田鎗次郎は弥生式土器の用語で報告した。
- B. 坪井正五郎は弥生式土器を本郷・向ヶ岡で発見した。
- C. 八木英三郎は縄文式と弥生式土器を層位的に確認した。
- D. 鍵谷徳三郎は弥生式土器に石器が伴うことを報告した。

問 16	B
------	---

問 17 濱田耕作に関する業績のうち、該当しないのはどれか。

- A. 国府遺跡の発掘
- B. 西欧の考古学研究法の導入
- C. 遠賀川式土器の提唱
- D. 弥生式土器の系統的集成

問 17	C
------	---

問 18 測量と写真撮影が初めて行われた遺跡は、次のうちではどれか。

- A. 三ツ沢貝塚
- B. 国府遺跡
- C. 姥山貝塚
- D. 加曾利貝塚

問 18	A
------	---

問 19 東京帝国大学人類学教室について、正しくないのは次のうちどれか。

- A. 発掘の最大の目的は人骨を得ることであった。
- B. 土器編年の確立が教室の目標であった。
- C. 坪井正五郎により開設された。
- D. 酒詰仲男・和島誠一が所属していたことがあった。

問 19	B
------	---

問 20 旧石器のデータ分析に初めてコンピューターを導入した遺跡は、次のうちどれか。

- A. 中山谷遺跡
- B. 月見野遺跡
- C. 野川遺跡
- D. 砂川遺跡

問 20	C
------	---

問 21 点ポイント調査の実施が報告書で確認できる最初の遺跡は、次のうちではどれか。

- A. 国府遺跡
- B. 姥山貝塚
- C. 夏島貝塚
- D. 草花遺跡

問 21	D
------	---

問 22 奈良県纏向石塚古墳を「纏向型前方後円墳」として積極的に評価した研究者はだれか。

- A. 石野博信
- B. 都出比呂志
- C. 寺沢 薫
- D. 小林行雄

問 22	C
------	---

問 23 埼玉県稻荷山古墳から出土した鉄剣について、正しいものはどれか。

- A. 獲加多支齒大王は倭の五王の一人、仁徳天皇と考えるのが有力である。
- B. 乎獲居の臣は大王に仕えた畿内の豪族で東国に派遣された事が判明している。
- C. 辛亥年は西暦 531 年であることが、出土品の検討から有力である。
- D. 獲加多支齒大王は倭の五王の一人、雄略天皇と考えるのが有力である。

問 23	D
------	---

問 2 4 群馬県黒井峯遺跡について正しいものはどれか。

- A. 黒井峯遺跡から発見された建物の多くは、土屋根構造の竪穴住居であった。
- B. 黒井峯遺跡は浅間山軽石（As-C）の降下で埋没した4世紀初頭のムラであった。
- C. 黒井峯遺跡は榛名山ニツ岳火山灰（Hr-FA）の降下で埋没した6世紀中頃のムラであった。
- D. 黒井峯遺跡から発見された水田跡は、小規模区画のものであった。

問 24	C
------	---

問 2 5 奈良県高松塚古墳について正しいものはどれか。

- A. 高松塚古墳から発見された壁画は、仏教的要素の強いものである。
- B. 高松塚古墳から出土した鏡は、船載の三角縁神獣鏡である。
- C. 高松塚古墳の調査を契機に、古墳時代終末期の研究が進展した。
- D. 高松塚古墳の調査を契機に、前方後円墳の研究が進展した。

問 25	C
------	---

問 2 6 古代寺院の調査について正しいものはどれか。

- A. 飛鳥寺は調査で一塔三金堂という独特の伽藍配置が判明した。
- B. 下野国分僧寺と尼寺は調査で伽藍配置と寺地が判明したが、まだ史跡整備はされていない。
- C. 法隆寺再建論争は調査で法隆寺式伽藍配置の若草伽藍が発見されて一応の決着をみた。
- D. 山田寺の調査で発見された金堂蓮子窓は現存する最古級の木造建築である。

問 26	A
------	---

問 2 7 駅路の整備について正しいものはどれか。

- A. 駅路の整備は律令国家の積極的な支援で、駅路は徐々に大規模なものになった。
- B. 駅路の整備は郡家や国府の造営より遅れ、8世紀中頃に着手された。
- C. 駅路の整備は中央集権的な律令国家の政治的意向が重視された。
- D. 駅路の整備は経済的利便性が重視され、経済発展の基礎となった。

問 27	C
------	---

問 2 8 奈良・平安時代の集落調査の増加により判明した事柄で、正しいものはどれか。

- A. 調査の増加で国ないしは郡領域での詳細な土器編年が可能になった。
- B. 手工業は低調で須恵器を食器として使用するのはい部上層階級に限定されていた。
- C. 東国でも高床住居が普及し、住居環境が改善された。
- D. モノの流通が活発になり、貨幣の使用も一般化した。

問 28	A
------	---

問 2 9 文化財の記録写真画像に求められることで最も重要なのは次のどれか。

- A. 陰影が効果的に用いられた画像
- B. 実測図に近い再現で歪みがない画像
- C. 陰影がない、あるいは陰影が少ない画像
- D. 高い画素数のカメラで撮影された画像

問 29	A
------	---

問 3 0 発掘調査において重要な撮影で最も必要なことは次のどれか。

- A. 白黒フィルムとカラーフィルム（あるいはデジタル カメラ）の併用。
- B. 補助光やレフ板を用いて必ず陰影をコントロールする。
- C. カメラブレを防ぐために必ず三脚を用いる。
- D. 大判フィルムを用いたカメラ、あるいは高画素センサーのカメラを用いる。

問 30	C
------	---

問 3 1 遺構の撮影に適した光線状態は次のどれか。

- A. 不要な陰影が出ない曇天の日中
- B. 適切な色再現が得られる快晴の日中で、陰影が少ない順光状態
- C. 快晴の夕方で陰影が弱くなる日没の直後
- D. 快晴、または薄日の日中で、遺構に陰影が出る時刻

問 31	D
------	---

問 3 2 「通論考古学第三章 調査の方法（一）八五、図版」の項で、濱田耕作が写真を含めた図版について述べていることで正しいのはどれか。

- A. ミハエリスは近世考古学進歩の大原因の一つに印刷を挙げている。
- B. 報告書は本文を主に詳しく記述し、伝えきれないところを図版で補う。
- C. 報告書は図版を主にし、伝えきれない部分を本文で補う。
- D. 写真は図画よりも正確で速く、費用の節約から多用する。

問 32	C
------	---

問 3 3 カラーリバーサルフィルムを用いた撮影で、適切な色再現を得るために最も必要なことは次のどれか。

- A. 曇天下で撮影する際は、色温度変換フィルターを用いる。
- B. 正確な露光で深い焦点深度が得られる絞り値で撮影する。
- C. 正確な露光と適切な焦点深度で被写体と背景との分離を明瞭にする。
- D. 室内撮影では外光を遮断して写真電球を用いる。

問 33	A
------	---

問 3 4 航空写真や垂直俯瞰写真を報告書等で使用する際の留意点はどれか。

- A. 薄日や順光線で撮影され、極力陰影が少ない写真を選ぶ。
- B. 写真は地図や測量図と異なり被写体の陰影が下、または斜め下になるように配置する。
- C. 写真は地図や測量図とともに、方角を合わせて対比させて配置する。
- D. 写真は地図や測量図と同じように、天部が北になるように配置する。

問 34	B
------	---

問 3 5 つぎの中から正しいものを選び。

- A. 平面直角座標系第Ⅷ系の (X, Y) 座標で (-3.4, 10.5) の座標位置は、第Ⅷ系原点から見ると北西に位置している。
- B. 平面直角座標系第Ⅸ系の (X, Y) 座標で (-3.4, -10.5) の座標位置は、第Ⅸ系原点から見ると北西に位置している。
- C. 平面直角座標系第Ⅹ系の (X, Y) 座標で (6.4, -2.2) の座標位置は、第Ⅹ系原点から見ると北西に位置している。
- D. 平面直角座標系第Ⅺ系の (X, Y) 座標で (3.4, 10.5) の座標位置は、第Ⅺ系原点から見ると北西に位置している。

問 35	C
------	---

問 3 6 測量の 3 要素と関係のないものを選び。

- A. 子午線
- B. 斜距離
- C. 水平角
- D. 標高

問 36	A
------	---

問 37 つぎの中から間違っているものを選び。

- A. 縄文時代住居跡埋甕 1/10 出土状況図は、埋甕 1/2 遺物実測図より縮尺が小さい。
- B. 古墳時代横穴式石室 1/50 実測図は、石室内 1/10 遺物出土状況図より縮尺が小さい。
- C. 弥生時代銅鐸 1/5 出土状況図実測図は、方形周溝墓 1/50 実測図より縮尺が大きい。
- D. 江戸遺跡井戸跡 1/40 遺構実測図は、寛永通宝 1/1 遺物実測図より縮尺が大きい。

問 37	D
------	---

問 38 つぎの中から正しいものを選び。

- A. 日本国内では、1/50000 の地形図は横メルカトル図法 (U.T.M) で表される。
- B. 日本国内では、1/25000 の地形図は平面直角座標系で表される。
- C. 日本国内では、1/2500 の都市計画図は緯度経度で表される。
- D. 日本国内では、1/1000 の都市計画図はメルカトル図法で表される。

問 38	A
------	---

問 39 遺跡調査の図面作成で下記のような方法で図化を行った。対象物の規模や状況を考えて、もっともふさわしいものを選び。

- A. 器長 6cm ほどの旧石器時代ナイフ形石器について、トータルステーションを使って丁寧に図化し、1/1 の実測図を作成した。
- B. 器高 30cm ほどの縄文時代中期深鉢土器の実測図 (縮尺 1/1) を、三角定規・デバイダ・コンパス・マコ・キャリパーなどを使い、時間をかけて図化した。
- C. 5m×4m ほどの古墳時代隅丸方形の住居跡について、平板測量 (外芯誤差のある一般的なアリダードを使用) で 1/20 の実測図を作成した。
- D. 樹木が繁った 100m ほどの前方後円墳について、測量会社に発注してセスナから撮影したデジタル写真を使い、主曲 50cm の等高線を入れた古墳全体の地形図を作成した。

問 39	B
------	---

問 40 考古学における実測の歴史で、①～⑤が年代順に正しいものを選び。

- ①大森貝塚報告書で土器実測図が掲載される。
- ②遺跡調査でトータルステーションが普及する。
- ③遺跡調査で平板測量が導入される。
- ④遺跡調査でパソコンが普及する。
- ⑤遺跡調査で 3次元レーザ計測が行われるようになる。

- A. ①>②>③>④>⑤
- B. ①>②>④>③>⑤
- C. ①>③>②>④>⑤
- D. ①>③>④>②>⑤

問 40	D
------	---

問 41 古墳時代の住居跡から出土した須恵器壺の出土地点をトータルステーションとプリズムミラーを使って記録しようとしている。トータルステーションは 10m 離れた地点に設置してある。壺を取り上げて、出土地点の中央付近にミラーの付いたピンポールを立てた。機械に表示される水平角の角度が 1 度違っていると、実際の距離ではどれだけずれることになるか、下記のなかから最も近いものを選び。

- A. 約 0.17mm
- B. 約 1.7mm
- C. 約 17mm
- D. 約 170mm

問 41	D
------	---

問 4 2 金属遺物を保存管理するために必要な脱酸素剤はどのような目的で使用されるか。以下の項目の中から正しいものを一つ選べ。

- A. 金属遺物を乾燥状態で保存管理するため。
- B. 金属遺物の腐食を防止するために低酸素状態で保存管理するため。
- C. 金属遺物中に含まれる水分を取り除いて保存管理するため。
- D. 金属遺物に付着している有機物の保存管理するため。

問 42	B
------	---

問 4 3 発掘現場で脆弱な鉄製品を強化するために、溶剤タイプアクリル樹脂をキシレンに溶解して使用した。この樹脂を使用するためには、どのような安全管理が必要か適切な方法を下から一つ選べ。

- A. 耐溶剤手袋、有機溶剤用マスク、ゴーグルなどを着用して使用する。
- B. 風の強い時を選んで使用する。
- C. 何も着用せずに使用する。
- D. 台所用の手袋と防塵用マスクを着用して使用する。

問 43	A
------	---

問 4 4 土器破片の接合には、可逆性のある樹脂を使用することが原則である。下に示された樹脂の中から土器破片の接合に使用している可逆性のある樹脂を一つ選べ。

- A. ウレタン樹脂
- B. エポキシ樹脂
- C. セルロース系樹脂
- D. シリコーン樹脂

問 44	C
------	---

問 4 5 保存の対象になる考古学資料にはどのようなものがあるか。下から最も適切なものを一つ選べ。

- A. 出土遺物
- B. 遺跡および遺構
- C. 遺跡及び遺構、遺物（人工及び自然）、発掘調査記録
- D. 自然遺物

問 45	C
------	---

問 4 6 一般的に出土銀製品には三種類の錆があると云われているが、どのような種類の錆か下から適切なものを一つ選べ。

- A. 硝酸銀、塩化銀、酸化銀
- B. 硫化銀、塩化銀、酸化銀
- C. 硫化銀、塩化銀、アンモニア銀
- D. アンモニア銀、硝酸銀、硫化銀

問 46	B
------	---

問 4 7 次のうち堆積物の分類にないものはどれか。

- A. 累積性堆積物
- B. 火山砕屑堆積物
- C. 有機質堆積物
- D. 化学的堆積物

問 47	A
------	---

- 問 4 8 いわゆるローム層の歴史的経緯に関わる記述で正しい説明はどれか。
- A. ローム(loam)とは地質学における粒径組成による区分の名称である。
 - B. 赤土を最初にロームと記載したのは日本人の研究者ではない。
 - C. 関東ローム層が火山灰に由来することを指摘したのはヨーロッパの研究者である。
 - D. ローム層は火山灰層であるという説明は地質学的に正しい。

問 48	B
------	---

- 問 4 9 次のうち、いわゆるローム層の特徴はどれか。
- A. 黒色を呈し、無層理である。
 - B. テフラに由来する碎屑物はほとんど含まれていない。
 - C. 粘土、シルト、砂の混合物であり、礫もまじることもある。
 - D. 構成粒子のほとんどは、風化を受けておらず、新鮮である。

問 49	C
------	---

- 問 5 0 武蔵野台地の立川ローム層を作る碎屑物の累積速度を速めた要因にはならないものはどれか。
- A. K-Ah の降灰
 - B. AT の降灰
 - C. 富士山の噴火
 - D. 箱根火山の噴火

問 50	A
------	---